

# 2026 年度サマーセッション開講

## 「フィールドワーク（自治体行政の実態調査）」

### 受講者募集について

2026 年 6 月

法学部教務委員会

法学部政治専攻では、実習科目として「フィールドワーク（自治体行政の実態調査）」をサマーセッションに開講します。この科目は、自治体での調査を通じて、自治体の政策や行政について学ぶとともに、実地調査（フィールドワーク）手法の習得を目的としています。調査にはある程度の時間が必要なため、夏休み期間中を利用することになります。そのため、夏休み前に履修登録者を確定しておく必要があります。

そこで、以下の日程で「フィールドワーク（自治体行政の実態調査）」の受講者の選考を行います。この科目の履修を希望する学生は、下記の指示にしたがって、履修申込書（志望理由書を含む）を提出した上で面接に臨んでください。選考の結果、受講を許可された学生だけが履修することができます。

履修申込書（志望理由書を含む）は、この文書に添付されています。受講上の注意および申込上の注意も記載してありますので、よく読んで下さい。

#### 履修説明会：6月18日（木）12:10～12:40（会場は、後日Ksmapy上にて告知します）

★説明会の資料については K-smapy II を通じて配布する予定ですが、当日直接質問したい場合などは教室にお越しください。

#### 履修申込書提出締め切り：6月22日（月）正午

★提出先：稲垣 浩 ([inagakih@kokugakuin.ac.jp](mailto:inagakih@kokugakuin.ac.jp))宛てにメールにて提出

#### 履修者の決定：第一次審査（書類選考）と第二次選考（面接）を行います。

#### 第二次選考（面接）については、書類選考通過者と個別に日程を調整します

★面接は対面又はオンライン（Zoom）または対面で行います。

（履修申込書に、希望の面接方法を明記してください）

#### 最終選考結果発表：メールにて個別に通知

#### 実地調査日：8月26日（水）～28日（金）2泊3日

#### 実地調査を行う自治体：大分県臼杵市



#### 受講に関する相談・連絡先

本科目担当 稲垣 ([inagakih@kokugakuin.ac.jp](mailto:inagakih@kokugakuin.ac.jp))

履修方法については、藤嶋 ([rfujishima@kokugakuin.ac.jp](mailto:rfujishima@kokugakuin.ac.jp))

## 2026年度 フィールドワーク(自治体行政の実態調査)受講上の留意点

1 提出物(単位取得には、以下のすべての提出物を最終的に提出する必要があります)

- (1) 質問票(様式等は別途指示します)
- (2) 調査記録レポート(主に、聞き取り調査の内容等をまとめたもの)
- (3) (1)(2)をもとに関係文献の調査等を含む最終レポート(5000字程度(資料、図表等含む))

## 2 学習の流れ

この授業では、自治体において実際に調査することを通じて、フィールドワークの手法を学び、自治体の政治・行政についてより深い理解と考察ができるようになることを目指します。

調査対象となる臼杵市は、県庁所在地である大分市近郊にある人口33000人ほどの醸造業、造船業、加えて有機農業を中心とした農業が盛んな自治体です。また、市中心部にある臼杵城を中心に中世以来の城下町の街並みが残っており、近年は海外からの旅行者も増えています。同じく醸造を始めとした伝統的な食文化が残っており、2021年11月には、国内で2番目となるユネスコの「食文化創造都市」に認定されました。他には、子育て支援や高齢者に対する医療や福祉の支援が盛んで、移住者も増えています。

現在の臼杵市は、2005年の旧臼杵市と野津町の合併で誕生しましたが、「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」に基づく過疎地に指定されるなど、合併後も居住人口の減少が続いています。

以上、臼杵市の現状について、インターネットや文献などを通じて下調べを行ったうえで、実際に聞き取り調査を行います。具体的な学習の流れは、以下の通りです。

### (1) 事前準備(履修決定から授業開始までの期間)

- ① 各学生による準備:履修する学生が図書資料やインターネットなどを通じて、事前に臼杵市の特徴、社会経済状況などについて予備リサーチを行います。
- ② 事前学習会の開催:調査についての事前学習会を行います(日程は後日調整)。学生は、臼杵市についての基本的な情報について学ぶとともに、実地調査での聞き取り内容の検討など、現地での調査に向けての準備作業を行います。
- ③ 聞き取り対象の決定と質問票の作成:現地では、自治体や関係団体などを訪問し、聞き取り調査を行います。そのため、事前に臼杵市側の対応状況や履修学生の関心に合わせて聞き取り対象や聞き取り内容を決定し、それを基に作成した質問票を提出します。

### (2) 現地での実地調査

- ① 基本的に参加者全員が現地での視察と聞き取り調査を行います。
- ② 臼杵市での調査は、**8月26日から28日まで**を予定しています。
- ③ 終了後、約1週間以内に臼杵市で得られた情報についてまとめたレポート(調査記録レポート)を作成・提出してください。

### (3) 最終レポートの提出

現地での実地調査終了後、調査結果に加えて文献などを通じて各自で考察を行ったものをまとめた最終レポートを提出してください(締切は10月1日を予定)。

## 3 費用・調査日程について

調査研究に際して必要な諸費用(交通費・宿泊費等)は、原則として自己負担となります。

実地調査日の代替日は設定しないので、スケジュール確保など、各自の都合等十分に検討してください。

# 2026 年度 フィールドワーク（自治体行政の実態調査）

## 履修申込書

学 年	学籍番号	氏 名	
メールアドレス(1日1回以上見るもの。携帯可)		携帯の電話番号	希望する面接方法

※「希望する面接方法」欄には、対面又は Zoom のいずれかを記入してください。

関心のある自治体の政策分野を二つ選び、記入してください。※必ず選択した分野の調査ができるとは限りません。

- ( ) 経済政策 例) 商店街の活性化、工場などの企業誘致、雇用や労働、農産物の栽培・流通・六次産業化、など
- ( ) まちづくり・観光政策 例) 移住促進、観光施設の運営、まちづくりなど
- ( ) 政治・政策 例) 議会や市長などの政治活動、財政運営、行政改革、庁舎などのインフラ設備など
- ( ) 医療・福祉政策 例) 住民の健康管理、高齢者福祉や地域包括ケア、児童福祉や保育など
- ( ) 教育政策 例) 小中学校の統廃合、生涯学習、高校などとの連携など
- ( ) 交通政策 例) 鉄道やバスなどの公共交通の整備、新駅の設置、まちづくりとの連携など

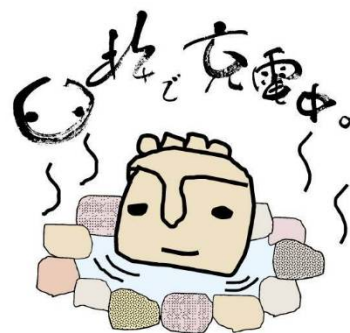
このほかに関心のある政策分野がある場合には、下記に記入してください。

( )

面接日は、個別にメールで調整します。Zoom の場合の URL 等は、後日指示します。

### 【注意事項】

- ・選考方法および申し込みの手続について質問がある場合には、稲垣(inagakih@kokugakuin.ac.jp)までメールしてください。
- ・申込者への連絡はメールで行いますので、メールアドレスは正確に記入してください。
- ・履修を許可された場合には、大学所定の学生保険を購入してもらいます。購入方法については、履修許可を通知するときに指示します。また、調査研究に際して必要な諸費用(宿泊費、交通費等を含む)は、原則として自己負担となりますが、詳細については履修者説明会で説明します。
- ・スケジュールについては、「受講上の留意点」をよく読んで下さい。



臼杵市マスコットキャラクター  
「ほっとさん」

# 志望理由書

☆表面で①・②をつけた政策分野を選んだ理由と具体的な内容について説明してください。

(①について)

(②について)

☆表面で「このほかに調査したい政策分野」を記入した場合、その内容と理由を説明してください。

☆ この授業への志望動機と、参加を通じてどのような事を学びたいか記入してください(できるだけ具体的に)。